

令和元年度  
第2回家庭教育支援連絡会会議録

1. 日時

令和元年10月25日（金）午後3時30分～4時20分

2. 場所

上下水道局 3階 会議室

3. 出席委員

水野委員長、眞鍋副委員長、河瀬委員、笠間委員、新宮委員、藤田委員、  
島津委員、原委員、樋口委員

4. 欠席委員

大田委員、岡本委員

5. 事務局

川原課長、西田係長、川上、西岡、大西

6. 会議次第

(1) 開会（委員長が議事進行）

(2) 案件

- ① 家庭教育支援者スキルアップ講習会について
- ② ねやがわ子どもフォーラムについて
- ③ 寝屋川市家庭教育サポーターの活動について
- ④ 家庭教育学級について
- ⑤ その他・情報交換

## 各案件の協議内容

- ① 家庭教育支援者スキルアップ講習会について
  - ・概要説明と開催日（令和2年1月10日、17日、31日の3日間）の説明
  - ・受講者の中から、来年度の「家庭教育サポーター」「家庭教育学級ファシリテーター」の募集、選考を行う。
  
- ② ねやがわ子どもフォーラムについて
  - ・開催概要の説明（開催日：令和2年2月8日（土））
  - ・家庭教育支援連絡会委員の所属団体にも周知、参加協力を依頼。
  - ・次回、第3回子どもフォーラム実行委員会（令和元年11月21日（木））にて講師の決定
  
- ③ 寝屋川市家庭教育サポーターの活動について
  - ・家庭教育サポーターの活動内容の説明
  - ・夏季休業期間小1・中1の家庭訪問について説明
  - ・サポーター配置校への学校訪問における学校からの感想を聞きたい。  
⇒サポーターの配置は、大変助かっている。学校と保護者との間に立ってくれる斜めの関係の存在。なくてはならない。
  - ・要保護児童対策協議会の台帳計上された児童には、関われない事になっているが、緩和することはできないのか。  
⇒各学校の関わり方が違う事等、サポーター自身のスキルが求められるので、現状では難しい。
  - ・家庭教育サポーターが気軽に相談のできる環境、スーパーバイザー等が欲しい。  
⇒寝屋川市家庭教育アドバイザーは居るが、常勤ではない為に相談ができてにくい。回数を増やす、教育指導課の派遣人材（SC）等との連携も考慮する。
  
- ④ 家庭教育学級について

## ア 家庭教育講座

- ・前 24 小学校の開催状況の説明（日程、対象、講師等）  
インターネット関連の講座にニーズが高い傾向

## イ 大人のCAP

- ・開催状況の説明（9月に6コミセンで開催）
- ・参加者の状況  
⇒PTAに参加動員（5名）のお願い。1コミセン20名程の参加。

## ⑤ その他・情報交換

- ・保育所の無償化が始まり、給食費を徴収するが温かいご飯の提供ができるようになり、子ども達が良く食べるようになった。
- ・民生委員・児童委員には部会があり、12年以上務めると5期会に入り、認知症、地域、子どもの事等を学ぶ機会がある。地域で動けるように学んでいる。
- ・こどもセンターの利用は未就学児が対象。リラットができ、若干利用者が減ったようだが、リラットの帰りに寄る保護者もいる。
- ・家庭教育サポーターの夏季休業中の家庭訪問で状況を把握して、支援対象ではない時に関係が作れると新学期からの活動がしやすい。
- ・神田幼稚園、南幼稚園との統合が決まっているが、50周年のお祝いもできて良かった。
- ・新しい学習指導要領、来年度完全実施になる。授業数が増える事で、働き方改革に逆行している。教科担任ができれば軽減されるのではないか。